

賛 助 会 員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

ご投稿をお待ちしています

「藻類」は皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やその他の報文（記事等）のご投稿もお待ちしています。ご投稿に際しましては、次頁の投稿案内（2013 年 2 月 15 日改正）をご覧ください。（編）

編集後記

本号より編集委員長を仰せつかりました畠田と申します。これまでの和文誌「藻類」を眺めてみますと、歴代の編集委員長および編集委員の皆様のご努力と才能に、ただただ感動するばかりで、私にこの伝統ある雑誌の編集委員長が務まるのかとの不安もありますが、一方で少しワクワクした気持ちもあります。編集委員の皆様のお力添えをいただきながら、会員の皆様の研究発表、情報交換ならびに一般社会への発信の場としての和文誌「藻類」を作り上げていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いします。

今回、編集体制を一新しました。ご投稿していただいた原著論文や総説の査読体制と「藻類学最前線」担当を強化しました。海藻類、微細藻類、生物学、水産学、基礎科学、応用

科学を問わず「藻類」に関する論文・記事が掲載されるのが本誌の魅力です。また、投稿案内も皆様にとって投稿しやすいように改正しました。皆様、眠っているデータはございませんでしょうか？ご投稿、お待ちしております。

今回、前編集委員長寺田さん、前々編集委員長北山さん等様々な方のご協力により、編集作業を終える事ができました。お忙しい中、本当にありがとうございました。雑誌 1 冊というものが、多くの方の思いとサポートで完成することを強く感じ、また素敵なことだと思いました。

山梨大会では、春の風を感じながら皆さまにお会いできすことを楽しみにしています。是非、編集に関する忌憚なきご意見をいただければ幸いです。（畠田 智）

表紙 日本藻類学会第 37 回山梨大会ロゴ
作成者：山梨大学芹澤研究室有志

作成者より：武田信玄が発展させた甲斐の国山梨へようこそという思いと、海から離れ、少し寂しげに富士五湖を眺めるフジマリモを描きました。